● 情報収集先 ●

■テレビ

テレビの地上デジタル放送などによって災害時に緊急情報や避難情報を見ることができます。テレビのリモコンの「dボタン」を押してください。

■ラジオ

インターネットによる情報収集ができない場合に役立ちます。ポケットラジオ、ポータブルラジオ、発電式ラジオなどを準備しておきましょう。

■携帯端末／インターネット

●気象庁

https://www.jma.go.jp/jma/

●内閣府防災情報

http://www.bousai.go.jp/

●国土交通省防災情報提供センター

https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/

●防災速報スマートフォン用アプリ

https://emg.yahoo.co.jp/

●災害お役立ち情報

https://e-suteki.haseko.jp/saigai/

■お住まいの地方自治体 防災ホームページ

http://www.

HASEKO

水漏れ・夜間の事故など緊急トラブルに関するお困りごとは・・・電話一本

24時間、365日、アウルコールへ

長谷工コミュニティ 長谷工コミュニティ西日本	長谷工コミュニティ九州	長谷工コミュニティ沖縄
0120-811-240	0120-492-739	0120-492-798

HASEKO

〈台風・大雪〉

自然災害に備える ✔

長谷工 コミュニティ
長谷工 コミュニティ西日本
長谷工 コミュニティ 九州
長谷工 コミュニティ 沖縄

2021.11

〈台風・大雪〉

自然災害に備える

台風・大雪は予報により状況を把握することができますが、竜巻やゲリラ豪雨のように直前の緊急警報でしか情報をキャッチできない場合もあります。日頃から家族全員が防災に関心を持ち、9月1日(防災の日)や1月17日(阪神・淡路大震災発生)、3月11日(東日本大震災発生)など防災関連のニュースが発信される機会に家族防災会議を開き、「わが家の決まりごと」について話し合いましょう。

「アウル24センター」※の自然災害による緊急通報受信状況

※長谷工グループの総合監視センター…24時間365日、マンションからトラブルの通報を受けています。

台風による緊急通報

<2013年度>関東地方に影響のあった台風4件による代表的な緊急通報について

- 排水槽満水・異常の発報
- 雨水貯留槽警報の発報
- 窓周り、天井など部分漏水
- バルコニー隔て板破損※パーティション
- **駐車場排水槽・ポンプ異常の発報**
  駐車場のポンプ故障や排水不良により地下ピットが冠水、駐車装置などの故障につながる状況が発生した。
- インターホンに雨水が浸入したことによる誤報
- **エレベーターの停止(機械室などへの雨水浸入)**
  緊急性や公共性の高い施設が優先されるため、復旧に時間を要した。

大雪特有の緊急通報

- **機械式駐車場の作動停止**
  駐車装置の各種センサーに雪がつき作動しなかった。
- **エレベーターの停止**
  エレベーター扉下の溝に雪が溜まり、扉が完全に閉まらなかった。

首都圏で大雨・大雪により被災したマンション

2014年7月の集中豪雨

2014年2月の大雪

防災の達人を目指して Let's check!!

防災チェックリスト

『わが家の防災自己診断 10』

- ☑ 1 災害の影響が著しくなった時、相互に安否確認する方法が決まっている
- ☑ 2 災害用伝言ダイヤル*の使用方法を知っている
- ☑ 3 避難場所や集合場所が決まっている
- ☑ 4 複数の避難経路が決まっている
- ☑ 5 非常時に持ち出すものを準備している
- ☑ 6 どの時点で避難するか、家族全員が理解している
- ☑ 7 家族全員がそれぞれの帰宅ルートを知っている
- ☑ 8 防災備品が用意され、設置場所も決まっており、充電や賞味期限を定期的に確認している
- ☑ 9 ご近所同士の協力体制が日頃からできている
- ☑ 10 応急手当やAEDの使用方法を理解している

*NTT災害用伝言ダイヤル「171」など。
ウェブサイト「災害お役立ち情報」にてご確認いただけます。●http://e-suteki.net/sonaeru/

『備えておくもの』<地震時備蓄品としても有効>

☑	飲料水	(3リットル*× 3日分) × 家族人数分　*1日ひとり3リットルが目安です。
☑	食料品	ご飯(アルファ米)、カップ麺、乾パン、缶詰類、レトルト食品、菓子類、バランス栄養食品、粉ミルク
☑	衛生用品	救急箱(常備薬品、包帯、ガーゼ、絆創膏、はさみ、消毒液、軟膏など)、歯磨きシート、生理用品、紙おむつ、ウェットティッシュ、除菌ジェル・除菌消臭スプレー、マスク
☑	トイレ	災害用トイレ、トイレットペーパー、消臭・除菌剤
☑	生活用品	カセットコンロ(カセットボンベ)、固形燃料、ライター、マッチ、ラジオ、乾電池、懐中電灯、携帯電話の簡易充電器、スペアのメガネ、コンタクトレンズ、軍手、筆記用具、水用ポリタンク、ゴミ袋
☑	あると便利なもの	ガムテープ、万能ナイフ、使い捨てカイロ、冷感ジェル、クーラーバッグ・保冷剤、ラップフィルム・アルミホイル、ホウキ・チリトリ、バケツ、新聞紙、ロープ、ビニールシート、寝袋

スーツケースに収納しておくとスペースが有効に使えます。

『非常時に持ち出すもの』

☑	身につけるもの	運動靴、懐中電灯、軍手、ヘルメット、マスク、ゴーグル、雨具・カッパ、防寒着
☑	飲料水・食料品	ペットボトル、給水袋、最低限の食料
☑	その他日用品	携帯ラジオ、筆記用具、ウェットティッシュ、下着、その他個人的に必要なもの(常備薬、メガネなど)
☑	貴重品	現金(硬貨含む)、預金通帳、印鑑、運転免許証・身分証明書、健康保険証

両手がふさがらないリュックが安全です。

自然災害への備えとして、個人・管理組合それぞれにご確認いただきたいことをまとめました。

個人での備え

マンションは災害に強い建物だと言われていますが、台風や大雪で被災する可能性はゼロではありません。ご家族みんなで日頃から対策をしておきましょう。

＜日頃の備え＞

- ☑ 安否確認の方法を確かめておきましょう（電話線が切断した場合は携帯電話が有効）。
- ☑ 家族の間で避難場所や連絡方法を確認しておきましょう。

- ☑ 避難の際に持参する最小限の持ち物を両手が使えるリュックサックにまとめ、ケガから足を守る運動靴を用意しておきましょう。
- ☑ ライフラインが途絶えた時を想定し防災用品、備蓄品を備えましょう（※防災チェックリスト参照）。飲料用とは別に生活用水として浴槽に水を溜めておきましょう。
- ☑ 常備薬の必要な方は、不足がないよう補充しておきましょう。
- ☑ ベランダ・ルーフバルコニーの手摺に取り付けている個別アンテナや設置物（物干し・植木鉢）は危険なので、撤去または補強をしておきましょう。※マンション管理規約・規則違反となる場合は速やかに撤去しましょう。
- ☑ ベランダ・ルーフバルコニーの排水溝や排水口を清掃しましょう。
  ※ベランダの排水口は隣戸との共同使用です。
  ※排水口がゴミなどでつまると、雨水が溜まり、室内や階下への漏水につながる恐れがあります。

- ☑ 飛来物などによるガラス破損に備えて、窓に飛散防止フィルムを貼りましょう。
  ※フィルムの貼りつけについては、マンション管理規約・規則に定めがある場合は、管理組合への届け出が必要です。
- ☑ 気象情報を確認するツールを準備しておきましょう。
  ※裏表紙「情報収集先」参照

＜直前の備え＞

- ☑ 窓は極力閉めたままにし、カーテンは引いておきましょう。
- ☑ 窓や玄関扉の下部より雨水が浸入する事があります。窓の鍵をしっかりかけ、雑巾やタオルなどで目張りを施しましょう。

- ☑ 室内扉はしっかり閉めるか、フックに留めておきましょう。
  ※強風時に、窓や玄関扉を開けると、室内扉が勢いよく閉まり、壊れたり、手を挟まれる危険があります。

管理組合での備え

『**減災**』の取組は、管理組合の強力な意思決定が必要です。管理会社と協力し次のような対策や役割分担を決めておきましょう。

- ☑ 関係諸官庁・最寄りの病院・エレベーター会社などの緊急連絡先リストを作成し、管理事務室に掲示するとともに管理組合役員で共有しましょう。

- ☑ 居住者名簿を作成し、保管しておきましょう。「一人暮らし、高齢者」を把握し、『**近助**』を心がけましょう。

- ☑ 防災マップ、ハザードマップを市役所・区役所の窓口やインターネットで入手しておきましょう。
  ※近年、住民による自主防災マップの作成が行われているところもあります。
- ☑ 樹木の支柱や敷地周囲の塀はすぐには補強や改修ができません。経年劣化したものは普段から改修しておきましょう。
- ☑ エントランス・エレベーターピットや地下に設けてある施設への浸水対策に土のうを準備しておきましょう。また、設置場所と設置基準を決めておきましょう。
  ※市販で再利用可能な吸水性簡易土のうもあります。

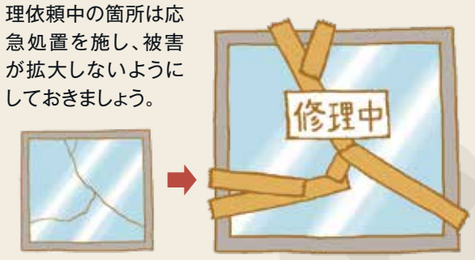
- ☑ 管理組合で用意している備品を確認しておきましょう。
- ☑ 管理組合で加入している保険について確認しておきましょう。

■マンション共用部の火災保険の一般的な対象

火災、落雷、破裂・爆発、風災・ひょう災・雪災、建物外部からの落下・飛来、水漏れ、盗難　など

※地震は別途地震保険、水災は特約が必要なので注意しましょう。

- ☑ 居住者への注意喚起や対策内容をあらかじめ整理し、掲示物として準備しておきましょう。
- ☑ 現在修理中および修理依頼中の箇所は応急処置を施し、被害が拡大しないようにしておきましょう。



……台風・強風に関する事項

- 自動車やバイクのカバーなど飛散の恐れがあるものは、固定しておきましょう。

- 外出中の高齢者や幼児･児童は迎えに行きましょう。

- 公共交通機関の運行状況をテレビ･ラジオやインターネットなどで確認しておきましょう。※裏表紙「情報収集先」参照

- 大雨が予測される場合、地下ピット式の機械式駐車場は水没の恐れがあるため、下段の車両は地上に避難させましょう。
  ※強風時に機械式駐車場を作動させ、倒壊･変形があった場合、駐車場メーカーの事故補償はありません。

- 定期購読書や配達物の遅延を予想しておきましょう。

- 敷地内の飛散する恐れがあるものは撤去、養生をしましょう（ゴミ･枯葉を含む）。

- エレベーターピットに水が入るとエレベーターが停止しますので、浸水対策を徹底しましょう。
- 共用部や敷地内の排水溝･排水口･排水マスにつまりがないかを確認するとともに、地下ピットなどの排水ポンプの作動確認をしておきましょう。

不要な外出は避けましょう！

＜その後の確認と点検＞

- 天候回復後、窓周りなどの雨漏れの確認とベランダの飛来･飛散物や被災箇所の点検を行い、必要な措置を施しましょう。
- 落下物や倒壊の恐れがある危険箇所および、電線類のたるみや切断箇所に気付いたら、近寄らないで、関係諸官庁や管理事務室（管理会社）に連絡しましょう。

- 天候回復後、被災状況の確認を行いましょう。（飛来物などによる共用部の破損、雨漏りなどが考えられます。）また、屋上や地下室の点検は危険ですので管理会社や、専門業者へ連絡し依頼しましょう。
- 点検する際は複数人で実施しましょう。またその時は傘ではなく、カッパ着用をお勧めします。

- 発見した危険箇所には近寄らず、関係諸官庁や管理事務室（管理会社）に連絡しましょう。また居住者に注意喚起を行いましょう。

＜大雪特有の対策＞

大雪の際は通常の災害対策の他に以下のような対応が必要となる場合があります。除雪作業は多大な労力を要するため、マンション全体で助け合いながら行いましょう。

雪に備える

大雪に備えて用意しておきましょう。

- ●雪かき用スコップ…アルミ製がおすすめ
- ●一輪車（雪の運搬用）
- ●塩化カルシウム（融雪･凍結防止用）※
  ※塩化カルシウムは自動車や植栽にとって有害ですので、使用する際は通路のみの撒布とし、凍結の恐れがなくなったら散水が必要です。

- 除雪時の雪の置き場をあらかじめ決めておきましょう。※日当たり･植栽地･敷地内道路隅などを考慮しましょう。

- 駐輪場の屋根が積雪により壊れることがあります。支柱の補強工事や電熱線（融雪マット）を屋根に設置するなどの対策を管理会社と相談しましょう。

- 機械式駐車場は、各種センサーに雪がつき動かなくなる場合があります。車を使用する予定がある場合は、あらかじめ車を移動しておきましょう。
  ※降雪時の運転は、十分注意して行いましょう。

雪が積もったら

除雪作業の手順

まずは生活にかかわる通路を確保しましょう。

❶敷地内エントランスアプローチ、スロープ
❷歩行者用通路（共用廊下を含む）
❸敷地内駐車場の車路
❹敷地外の歩行者用通路

- 水やお湯で雪を溶かすのはやめましょう。凍結の恐れがあります。
- 屋根の上の雪は、一度にまとまって落下する場合があります。また、駐輪場などは積雪量によっては倒壊する場合があります。危険な箇所は立入禁止にしておきましょう。

- 雪の凍結した路面や坂道は滑りやすく、大変危険です。歩行の際は十分注意しましょう。できれば手摺のある道を通りましょう。
  歩くときのポイント･･･厚手の靴下と滑りにくい靴、さらにカッパを着用し、歩幅を小さく、体重を均等に足にかけて歩きましょう。※へっぴり腰は転びやすいので危険です。
- スリップが多発しますので、自動車や自転車などの使用は控えましょう。※使用する場合は滑り止め対策をしましょう。
- 雪で埋もれた溝や段差に気づかず、落ちたりつまずいてケガをする危険があります。注意しましょう。